

Brad Mehldau Rare Transcriptions

1. Alfie (solo) Brad Mehldau - *Live in Tokyo*
2. Bewitched Brad Mehldau - *The art of the Trio* vol.3
3. Blame it on my youth Brad Mehldau - *The art of the Trio* vol.1
4. The days of wine and roses Mark Turner - *In this world*
5. Dedicated to you Peter Bernstein - *Heart's content*
6. Exit music Brad Mehldau - *The art of the Trio* vol.4
7. Georgia on my mind Charles Lloyd - *The water is wide*
8. Moon river Brad Mehldau - *The art of the Trio* vol.2
9. Paranoid android Brad Mehldau - *Largo*
10. Still crazy after all these years Brad Mehldau - *Anything goes*
11. Young and foolish Michael Brecker - *American dreams*

名演を探せ!!

ALFIE

ブラッド・メルドー(B)の名演
「アルフィー」

バカラックの名曲をコンチェルトを弾くように響かせている

なので、残響や聴衆の息づかい、そして時おりメルドーの鼻歌も聞こえてくる(キース・ジャレットほどではないけれど)。「アルフィー」は、TVドラマ「協奏曲」でも使われているが、この演奏もバックにストリングスでも鳴ってればそのままピアノ・コンチェルトの緩徐楽章として通用しそうな雰囲気を持っている。

演奏は、メルドーの左手が静かに押さえる9度で始まる。演奏全体にわたって、5度重ねの柔らかな9thが響いている。メルドーの不思議な左手が繰り返す響きの魔術。Fの3小節目の左手は、理論的にはロー・

インターヴァルの限界を超えているが、とてもいい音がする。A~Dの前半は緩急自在のテンポ感でスタートし、Eから最後まで、ゆったりとした4ビートで進行する。ペダルと鍵盤の適確なホールディング(Iの7小節目左手など)で、デリケートな表現の極致を見せつける。Iからは特に広い音域を駆使してフル・オーケストラの響きかする。特に最後の5小節は取まりのいい完璧なシークエンスで、とても即興とは思えないけれど、即興じゃなければこんなに音がきらめくはずもない。楽譜を一見ただけで、さまざまな



「ライヴ・イン・トーキョー」
ブラッド・メルドー
ワーナーミュージック
WPCR-11964~5

困難(指が届かない、どっちの手で取れまいのやら……etc)に溢れているけれど、鼻歌でも物しつつ、悠々とメルドーぶりを楽しんでみてほしい。〈採譜&解説:鈴木一司〉

ブラッド・メルドーの東京・すみだトリフォニーホールでのソロ・コンサートから、パート・バカラックの「アルフィー」である。ライヴ録音

Tempo Rubato

A: D^b, E^bm7/A^b, D^b, Fm7, B^b7^(b9)

E^bm7³, Fm7, B^bm7, E^bm7, E^bm7/A^b, A^b7, C7/D^b

E^bm7/A^b, A^baug7, B D^b, E^bm7/A^b, pp

D^b, Fm7, B^b7^(b9), E^bm7

Fm7, B^bm7, E^bm7, E^bm7/A^b, C7/D^b, C Cm7

ALFIE played by Brad Mehldau(p)

B^bm7^{(b5)/E^b A^b6/E^b Gm7 Cm7 B^bm7/E E^b7}

Cm6 Cm7 B^bm7^{(b5)/E^b A^b6/E^b E^bm7/A^b Fm/A^b A^b7}

D D^b E^bm7/A^b Gm7^(b5) G⁷ Fm7 B^bm7

Gm7^(b5) G⁷ Fm7 B^bm7 E^b7^(#11)

E^bm A^b7 C7/D^b E^bm7 A^b7 A^baug7

E D^bm7 E^bm7/A^b D^bm7 Fm7 B^b7^(b9)

E^bm7 A^b7 Fm₅ B^bm7 E^bm7 A^b7 C7/D^b

E^bm7/A^b A^b7 A^baug7/G^b **F** D^b E^bm7/A^b

D^bM7 Fm7 B^b7⁽⁹⁾ E^bm7₆ Fm7₃ B^bm7

E^bm7 Ddim E^bm7/A^b C7/D^b **G** Cm7 B^bm7⁽⁵⁾/F^b A^b6/E^b

Cm7 A^bM7 E^b7 Cm7 B^bm7⁽⁵⁾/E^b A^b7sus4/E^b

E^bm7/A^b D^bM7/A^b A^b7 **H** D^badd9 E^bm7/A^b Gm7⁽⁵⁾ G^b7

ALFIE

played by Brad Mehldau(p)

Fm7 Bbm7 Gm7^(b5) Gb7 Fm7 Bbm7 Bbm7

Eb7(#11) Ebm7 A7 C7/Db Ebm7/A7 A7

I C7/Db Ddim/Db Ebm7 Cm7^{(b5)/Gb} Ddim/Db Ebm7 Ebm7/A7

Ddim/Db Ebm7 Ebm7/A7 Ddim/Db

Ebm7 Ebm7/A7 DbM7 Ebm7 Badd9 A7

Ddim/Db Ebm7 A7 Db

PIANO SCORE

BEWITCHED

BOTHERED AND BEWILDERED

played by BRAD MEHLDAU

ブラッドの美しいハーモニー・ワークに挑戦!

20ページからのインタビューを楽しんでいただいたブラッド・メルドー・ファンの皆さん、お待たせしました。ここでは彼の最新アルバムからの演奏をコピー譜として掲載しよう。このブラッド・メルドーの「アート・オブ・ザ・トリオ」シリーズ第3作目はオリジナルとカバーが5曲ずつという構成になっている。カバーの方では、ジャズのスタンダード・ナンバーと共に、レディオヘッドの「エグジット・ミュージック(フォー・ア・フィルム)」などを取り上げているところがいかに

も新世代のジャズ・ピアニストという感じだが、さて、ここに掲載した「ビウィッチド(魅惑されて)」はリチャード・ロジャーズ作曲のミュージカル「Pal Joey」の中の曲。フランク・シナトラやエラ・フィッツジェラルド、それからリンダ・ロンシュタットまで、ヴォーカリストの名唱の多いラブ・バラッドだ。

曲はAABA32小節の定番形式で、譜面の[A][B]の部分がテーマの1コーラス部分。ここでは左手のコードを、ダイナミクスを抑え目にして弾

き、右手でメロディをとつとつとした感じで弾いている。ちょっとセロニアス・モンクを繊細にしたような、間を生かした感じのプレイだ。基本的に原曲に沿ったラインで弾いているが、[A]の7、8小節目などセクションの変わり目の裏コードによるフレイズがスバイスになっている。

[C]からアドリブ・パートに入る。気分的にはテーマの雰囲気そのまま維持し[C]の後半くらいから早いパッセージを弾いているが、何度かでてくるA7からDmにかけてのフレイズは



ザ・トリオVol.3

ブラッド・メルドー
ワーナーミュージック・ジャパン
WPCR-2098 9月25日発売

いろいろと応用できそうなので練習してみよう。

[E]の1小節目は本来トニックのCに解決して終わるはずだが、偽終止というテクニックでE7を置いているので終止が引き延ばされた形になっている。よく使われるので覚えておくとよいだろう。

〈採譜: 河本芳子/解説: 北原英司〉

BEWITCHED

【ビウィッチド(魅惑されて)】 played by BRAD MEHLDAU

Chords: Dm7(11) G7⁽¹³⁾₉ Em7 A^b6 Dm7(11) G7⁽¹¹⁾₉ Even

The first system of music features a treble clef with a melody of eighth and quarter notes, and a bass clef with a steady accompaniment of chords. The key signature has one flat (B-flat). The system concludes with a measure marked 'Even'.

Chords: C Even Dm7 C/E E7 FM7 Fm7

The second system continues the piece with a treble clef melody and bass clef accompaniment. It includes a measure marked 'Even' and a triplet of eighth notes in the treble clef.

Chords: C D[#]dim Dm7 G7⁽¹³⁾₉ C A^bm6 B^b E^bM7 D^b7

The third system features a treble clef melody and bass clef accompaniment. It includes a measure marked 'Even' and a triplet of eighth notes in the treble clef.

Chords: C Dm7 C/E E7 FM7 Fm7 Even

The fourth system continues with a treble clef melody and bass clef accompaniment. It includes a measure marked 'Even' and a triplet of eighth notes in the treble clef.

Chords: C D[#]dim7 Dm7(11) A7 Dm7 D^b A^b

The fifth system features a treble clef melody and bass clef accompaniment. It includes a measure marked 'Even' and a triplet of eighth notes in the treble clef.

Chords: D^bM7 G7(13)₉ C C[#]dim D Dm7

The sixth system continues with a treble clef melody and bass clef accompaniment. It includes a measure marked 'Even' and a triplet of eighth notes in the treble clef.

Chords: C E7 F B^b

The seventh system features a treble clef melody and bass clef accompaniment. It includes a measure marked 'Even' and a triplet of eighth notes in the treble clef.

PIANO SCORE

C D#dim7 Dm7 A7(13) Dm FM7

Em7(b5) A7(13) D Dm6

Am F7 E7 Am A7(13)

Dm7 Dm7(11) G7 C E F#m A#

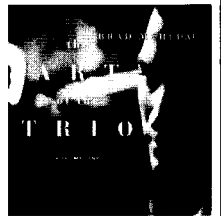
Dm7(b5) G7(b11) C Even Dm7 C E7

Tempo Rubato FM7 Bb7 CM7 D#dim7 Dm7 G7(13) E7

A D G E

●ブレイム・イット・オン・マイ・ユース

Blame It On My Youth



『ART OF THE TRIO Vol. 1』
weaジャパン (Warner Bros.) WPCR-971

本年度のグラミー賞ベスト・ソロ・パフォーマンス部門にノミネートされ、
21世紀を担うピアニストとして、今注目度NO.1の“ブラメ”ことブラッド・メルドー。
ここではそのノミネート曲となった「ブレイム・イット・オン・マイ・ユース」の譜面を、
ピアニストの守屋純子女史の解説とともにお届けしよう。
ブラメの美しいタッチに、ぜひとも挑戦してみたい。

採譜&解説＝守屋純子

イキの良い新人が次々出現するアメリカのジャズ界にあって、ブラッドはちょっと別格の抜きん出た存在と言われていますが、今回のバラッドはそれを証明するような演奏です。大体CDの1曲目にこんなヴェリー・スローのバラッドを持ってくること自体、相当な自信の現われでしょう。完成度の高い内容で、若手にありがちな“荒削りだけど勢いがある”といった“若気の至り”的なところはまったくありません。

さて、この譜面はあくまで近似値と考えてください。彼は非常に大きくリズムののって1拍1拍をとらえるタイミングも伸縮自在なので、きっちり割り切った書き方は不可能なのです。便宜上16分音符を基

本に書きましたが、彼が16分を中心のっているということではありません。こういうフレキシブルな演奏を可能にしているのは、ベースやドラムの力によるところも大きいので、トリオのインタープレイにも注目してください。

演奏は非常にシンプルで、両手とも削りとれるだけ削りといったような無駄のないものです。普通はいろいろな弾きすぎ、詰め込みすぎでしまいがちですが、こんな休符だらけの演奏でビーンと張り詰めた緊張感を保てるのは、彼ならではの“間合いの大切さ”を考えさせられます。

構成としてはルパートに続いて1コーラス目はテーマ、2コーラス目はアドリブで、2コーラス目の最後の4小節でテーマを提示して終わり

ます。2コーラス目でテーマをどうリハーモナイズしているか1コーラス目と比べてみてください。“歌う”ことに専念している彼は、特にトリッキーなことはしていませんが、随所にブラッドらしい独特なフレーズが顔を出します。ここではいくつか例をあげるにとどめますが、バラッド・プレイのヒントになる点はいろいろありそうです。

(以下の丸数字は譜面内の数字と対応しています)

- ① 54小節の4拍目は本来Bb7のところが半音上げたB7のスケールを使って効果を出しています。
- ② 61小節の1拍目のように、本来のマイナーのコードに行く前に 瞬間ルートメジャー7thフレイズをいれるという方法がよく使われていま

す。
③ 64小節では本来の7thコードに半音上のメジャー7thからおっています。

④ 69小節の1拍目は、Fm7をいきなりFMaj7で代理しています。

⑤ 68-71小節にかけてだんだん終息に向かうとみせて、72小節で突如現われるテンション感溢れるスケールの出し方も見事です。

彼は特にピアノのタッチがきれいで、強弱のつけ方にも全神経が行きわたっているの、一見何でもないフレーズもイキイキと輝いています。このあたりも大いに参考にしてください。弱冠27歳にして、全体に漂う静謐感と孤高の雰囲気。“ブラメ様”からしばらくは目が離せなくなりそうです。 ■

Verse
Rubato

Chords: BM7/D, CmM/D, GM9/B, Cm7(b9)/F#, F7(#11), BbM9, F7(b9), D7/F#, BM7, Bb7(b9), EbM9, AbM7/Bb, EbM7/Bb, D7(#9)/Bb, EbM/Bb, Bb dim, AbM7, Bb7(b9)

1♩ Tempo ♩ = 52

Theme

E♭M7 G♭9/E B♭M9/E♭ B♭6(♯5)/D E♭M7 Fm7 G7 3 C7 Fm7 C7(♯9)

(Bass & Drs. In) →

Fm7 C7 Fm7 C7 F7sus4 F7 B♭7sus4 B♭7 E♭M7 C7(♯5) B7(♯9) B♭M7 E♭7(♭9)

A♭M7 B♭7/A♭ G7(♯5) C7 Fm7 B♭7sus4 E♭M7(♯5) E♭M7

Dm7(♭5) G7sus4 G7(♯5) CmM7 Cm7 F7sus4 F9 B♭9sus4 A♭mM7/B♭(♯9) B♭7(♯9)

E♭M7 Fm7 G7(♯5) C7 Fm7 C7(♭9) Fm7 C7(♭9) Fm7 C7(♭9)

Fm7 B♭9 E♭M9 C7(♯9) B9 B♭7sus4 E♭7 E♭7(♯9) A♭M7 B♭7

B♭7 C7 Fm7 B♭7sus4 A♭7 G7(♯5) Gm7 C7(♭9) Fm7 Edim

F7sus4 F7 B♭7sus4 B♭7 E♭M7 C7(♯9) B♭M7 B♭7 Ad-lib E♭M7 Fm7

Vol. 1 J WPCR-971

守屋純子

コードに
おいてい

m7をいき
ます。
だん終息
命で突如現
スケール

がきれい
神経が行き
何でもない
いていま
参考にして

、全体に
氣。“ブラ
離せなく

D7(#9)/F# Gm7 C7(9) Fm7 C7(9) Fm7 C7(9) Fm7 C7(9) Fm7 Edim
 Fm7 F9 B^b7sus4 B7 ① EM9 Cm7 B7 B^bm7 E^b7(9) A^bm7 B^b7/A^b
 G7(#5) C7(9) F7(9) B^b7 E^bdim E^bm7 DM7 Dm7(6) G7
 Cm7 Cm7/B Cm7/B^b F7sus4 F7 BM7 ③ B^b6(#5) B^b7(9) A^b E^bm7 Fm7
 GM7 Am7 C7(9) Fm7 Gm7(6) C7(9) Fm7 C7(9) Fm7 ④ C7(9)
 F9sus4 F9 B^b7sus4 B^b7 E^bm7(9) E^bm9 Cm7 B7 E^bm7/B^b GM7/A ⑤ A7 A^bm7 B^b7
 GM7 D^b7 C7(9) Fm7 B^b7sus4 G^bm9/A^b G13 G7(13) C9sus4 C7(9) Fm7 Edim F7sus4 F7 B^b7
rit. B^b7sus4

Rubato (Piano Only)
 Am7(6) D7 G7(6) C7 Fm7(6) GM/B^b F9/E^b 8va 15ma
 (Bass & Drs. In)

THREE GE

重厚な
溢れる
シャス

市

CD発
 4月 1日
 4月 2日
 4月 4日
 7月31日
 開い合せ

名演を 探せ!!

DAYS OF WINE & ROSES

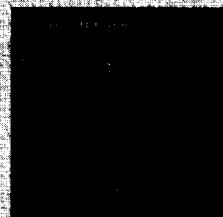
マーク・ターナー(ts) & ブラッド・メルドー(p)の名演
「酒とバラの日々」

期待の若手=マークとブラメの新鮮「酒バラ」

映画の内容はアルコール中毒になった若い夫婦の悲惨な生活を描いたものらしい。甘美なメロディのイメージからはちょっと意外。

さて、マーク・ターナー版の「酒バラ」はかなりアップ・テンポの4ビートで、展開にもひねりが加えられている。イントロはベースが半音ずつ上行していったAbに落ちつくが、突然転調して、AのテーマからキーはFになる。テーマのメロディはあまり崩さないで吹いているが、本来 Aのメロディがリビートされるはずの Bから、またさりげなく短3度上のAbに転調しているのだ。さらに、イントロと同

じCのインターロードを経てDからのアドリブ・パートでまたFに戻って……というふうには繰り返されている。ソロはDの3小節目までマークのテナー(ここでは実音で記譜されている)で、そのままいくかと思わせていきなりブラッド・メルドーのピアノへと引き継がれる。ブラッドのフレイジングはスピード感にあふれているが、途中Fの12小節目あたりからCの2小節目ほどにかけてリズム的にアウトする感じがスリリング。このへんのノリは譜面にはしづらいところだ。コードに沿ったシンプルなフレイズから始まって、だんだん複雑なフレイズに展開し



「イン・ディス・ワールド」
マーク・ターナー
ワーナーミュージック・ジャパン
WPCR-2184

今日は気鋭のテナー、マーク・ターナーの新譜「イン・ディス・ワールド」から、おなじみの「酒とバラの日々」をお届けしよう。原曲はヘンリー・マンシーニによる同名映画の主題歌だが、

て盛り上げていくところにも要注目。
(採譜：河本芳子、解説：北原英司)

intro. T.Sax → A/C D^bm7 Ddim7 A^bm E^b D^bm E

D^b/F G^bM7 Gdim7 E^b/G D^b/A^b

D^b/A^b D^b/A B^bm Cm7 Fm7 B^bm7 E^b7/A A^b

A^b [A] F D7

Gm7 B^bmM7 E^b7 Am7

Am7 Gm7 Em7(b5) Dm7

G A^b B^bm7 E^b7 [B] A^bM7 F7

F7 B^bm7 D^bm G^b7

Cm7 B^bm7 E^b7 B^bm7

DAYS OF WINE AND ROSES 「酒とバラの日々」

Chord progression: E^b7, [C] A^b/C, D^bm7, Ddim7, A^bm/E^b

Chord progression: A^bm/E^b, D^bm/E, D^b/F, G^bM7, Gdim7, E^b/G

Chord progression: D^b/A^b, D^b/A, B^bm, Cm7, Fm7, B^bm7, E^b7

Chord progression: A^b, Gm7, C7, [D] Fm7

Chord progression: D7, T.Sax, Piano, Gm7, B^bm7

Chord progression: E^b7, Am7, Gm7

Chord progression: Em7(b5), Dm7

Chord progression: [E] A^bM7, B^bm7

Chord progression: B^bm7, D^bm7, G^b7, Cm7

Cm7 A^bm7 E

B^bm7 F D^bm7 D D^b

E^bm A^b E^bm7(b5) A^bm

A^bm D7 A^bm A^b B^bm7 E^b7

B^bm C7 G F7 D7

D7 Gm7 B^bm7

B^bm7 Am7 Gm7 E^bm7

DAYS OF WINE AND ROSES「酒とバラの日々」

The piano score for "Days of Wine and Roses" is presented in a single system with eight staves. The key signature is three flats (B-flat major/D-flat minor) and the time signature is 4/4. The score includes the following elements:

- Staff 1:** Chords: Dm7, D7, Gm7, A^b. Includes a quintuplet (5) in the right hand.
- Staff 2:** Chords: A^bm, C7(#9), F7, B^bm7. Includes a triplet (3) in the right hand.
- Staff 3:** Chords: B^bm7, D^bm, Cm7, Fm7. Includes an 8va marking in the right hand.
- Staff 4:** Chords: Fm7, Bdim7, Cm7, Cdim7, D^bM7, E7.
- Staff 5:** Chords: C7, D7, D7, A^b7, Ddim, E, A^b. Includes a section marker 'I' and multiple triplet (3) markings in the right hand.
- Staff 6:** Chords: G7, G^b, G^bm, E^bm7. Includes a triplet (3) in the right hand.
- Staff 7:** Chords: F7, B^bm7, E7, A^b, C7, F.

名演を探せ!!

DEDICATED TO YOU

ピーター・バーンスタイン(g)&
ブラッド・メルドー(p)の名演
「デディケイティッド・トゥ・ユー」

巧みな転調、斬新なフレージングなど聴きどころ満載!

アノを採譜した。この曲は「ジョン・コルトレーン&ジョニー・ハートマン」などでも取り上げられている、AABA32小節形式のスタンダード曲だ。スコアの[A]と[B]がテーマで、ギターがメロディを弾いている。この後の[C]からアドリブ・パートで、ギターが16小節アドリブをとった後、[D]からピアノ・ソロ(続いてベースのラリー・グレナディアがソロを取っているがここは割愛)、最後にギターがテーマの後半部分を演奏しエンディングに向かっている。この曲のキーはB♭で、サビでDとFに転調し再びB♭に戻るという構成だが、ここではアドリブに入る[C]の部分でいきなりD♭に転調し、テーマに戻った後の[D]からさらにCに転調している。

ていつかポイントになるところ取り上げてみよう。[C]の5小節目のA♭7でのオルタード・テンションを絡めて音を跳躍させたフレージングは斬新。10小節目のC7や13小節目のA♭7の32音符のフレーズも同様だが、流れるように心地良い。またエンディングのG7のアウト・フレーズはコン・ディミを使用したものだが絶妙なバランスになっている。バーンスタインの演奏スタイルはまさにジャズ・ギターのエッセンスが凝縮されたもので、シンプルかつメロディアスなフレージング、空間を巧みに操るリズムック・アプローチ、ジョン・スコフィールドを思わせるアウト感覚、これらが見事に融合され彼の個性となっている。



「HEART'S CONTENT」
ピーター・バーンスタイン+3
Criss Cross Jazz 1233

一方ピアノのメロディーも、[E]の3、4小節目に見られる、右手のコードの中に

左手も加えた独特のヴォイスिंग、11、12小節目のような浮遊感あるフレージング、またバックのリズムを無化するようなテンション感のある絶妙なノリなど、研ぎ澄まされた才気煥発な音使いを聴かせている。
(採譜&解説：鈴木賢治(g)、河本芳子(p))

歌心溢れる実力派のギタリストとして脚光を浴びているピーター・バーンスタインの「HEART'S CONTENT」(輸入盤)から「デディケイティッド・トゥ・ユー」を取り上げ、バーンスタインのギターと、共演するブラッド・メルドーのピ

では、ギターのアドリブ・ソロにおい

The musical score is presented in four systems, each with a guitar staff (treble clef) and a piano staff (bass clef). The guitar staff includes chord diagrams and fingering numbers (1-4 for fingers, 10-12 for frets). The piano staff includes fingering numbers and dynamic markings such as *g.* (grace notes), *s.* (accents), *h.* (harmonics), and *p.* (piano). Chord changes are indicated above the guitar staff, including B♭6, Em7, A7(♭9), B♭M7, Dm7, G7, Cm7, F7(♭9), B♭M7, Am7(♭5), D7, Gm7, C7, Cm7/F, F♯m7, B7, B♭6, Em7, A7(♭9), B♭M7, E♭7(♯11), Dm7, G7, Cm7(♭5), F7, B♭M7, E♭7, Dm7(11), G7, Cm7, F7(♭9), B♭M7, Em7, and A7. The score includes various rhythmic patterns, including triplets and sixteenth notes.

DEDICATED TO YOU : Words & Music by Sammy Cahn, Saul Chaplin, Hy Zaret
© 1935 by CHAPPELL & CO., LTD.
All rights reserved. Used by permission.
Print rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUNDATION

DEDICATED TO YOU

played by PETER BERNSTEIN (g) & BRAD MEHLDAU (p)

B D6 Bm7^{s.} Bdim7 Em7⁽¹¹⁾ A7 D6 Gm7 C7

FM7 D7^(b9) Gm7^{s.} C7 Cm7/F F#m7 h. B7

Bb6 s. Em7 A7 BbM7 E7 Dm7 G7 h. p.

Cm7^(b5) F7 BbM7 E7 Dm7 G7 Cm7 F7^(b9) BbM7 h. Ab7

C D#6 Gm7^(b5) C7 Fm7 D#M7

Fm7 Bb7 p. EbM7 Ab7 h. p. D#M7 Cm7^(b5) F7

BbM7 E7 h. EbM7/Ab Am7 D7 D#M7

Gm7 C7 p. D^bM7 Gm7 C7 Fm7 B^b7

8 7 8 8 8 11 9 8 11 10 8 7 9 8 6 5 8 6 5 8 5 6 7 8 5 8 5 8 5 6 9 7 8 7 8 9 11 11 3 18 14 15 16

E^bm7 A^b7 D^bM7 G^b7 Fm7 B^b7 E^bm7 A^b7

15 14 14 14 14 16 16 14 16 15 14 15 12 13 12 14 13 11 9 10 10 9 11 6 8 9 11 11 11 11 9 7 8 9 8 11 9 11 11 3 9 12 13 13 13 9 8 9

D^bM7 h. Gm7(b5) p. C7 p. FM7 Guitar Solo

9 11 9 9 9 8 11 9 8 11 10 8 7 (9) (8) 6 5 8 6 7 8 7 5 8 (8)

Piano Solo → Dm7(11) A^bdim7 Gm7 C7 FM7 B^bm7 E^b7

3 3 4 5 3 2 3

A^b F7(11) B^bm7 E^b7 A^b7sus4

5 4 4 4 4 3

Am7 D7(11) D^bM7 Gm7 C7(b9)

3 2 3

D^bM7(11) G^b7(11) Fm7(11) B^b7(11) E^bm7(b5) A^b7 D^b6 G^b7 Fm7 B^b7

6 6 5 3 6 3 3 3

DEDICATED TO YOU

played by PETER BERNSTEIN (g) & BRAD MEHLDAU (p)

The musical score is arranged in seven systems, each containing a guitar (G) and piano (P) part. The key signature is B-flat major (two flats), and the time signature is 4/4. The score includes various musical notations such as chords, triplets, slurs, and fingerings. The guitar part is written in standard notation with fret numbers and string numbers (T, A, B). The piano part is written in standard notation with dynamics like *p*, *pp*, and *h*. The score concludes with a 'Bass Solo' section marked with a box around the number 14 in both staves.

System 1: Chords: E^bm7(11), A^b7(11), D^bM7, E^bm7, B7, E D^b. Measure 14 is marked as 'Bass Solo'.

System 2: Chords: D^bM7, Gm7, C7, FM7, Dm7, Ddim7, Gm7, C7. Includes dynamics *p*, *h*, and slurs.

System 3: Chords: FM7, B^bm7, E^b7, A^bM7, F7, B^bm7, E^b7(9). Includes dynamics *h*, *p*, and slurs.

System 4: Chords: E^bm7/A^b, Dm7, G7, CM7. Includes dynamics *s*, *p*, and slurs.

System 5: Chords: F^bm7, B7, CM7, F7(11), Em7, A7, Fm7, D7(9), G7. Includes dynamics *g*, *p*, and slurs.

System 6: Chords: CM7, A7, Dm7(11), G7(9), G7. Includes dynamics *h*, *p*, *pp*, and slurs.

System 7: Chords: G7, CM7. Includes slurs and fingerings.

名曲を探せ!!

EXIT MUSIC (FOR A FILM)

ブラッド・メルドー(p)の名演
「エグジット・ミュージック(フォー・ア・フィルム)」

ロック・バラッドの美しいメロディを

う。この曲はイギリスのロック・バンド、レディオヘッドの曲で、トム・ヨークのちょっとミゼラブルではかなげなヴォーカルが印象的な、美しい「泣き」のメロディだ。メルドーはこの曲を前作の「Vol.3」でも取り上げていたので、ご存知の方も多だろう。続けて取り上げるとはよほどのお気に入りらしい(ちなみに「憧れ」も再収録されている)。前作のスタジオ録音では短めの演奏だったが、今回はライブ盤ということで、熱のこもった演奏をたっぷり聞かせている。

ジャズの譜面には見えないのではないだろうか。左手のパターンもいわゆる「ジャズ」らしくないし、何より、ハーモニーの中にテンションが含まれていない。ロックやポップスをジャズ化するとき、通常は大幅にジャズらしくリハーモナイズするものだが、この場合ほとんど原曲どおりのコードを使っている。ジャズであるにもかかわらずトライアド中心のコード・トーンのみで終始する、こんなところが逆に新世代ピアニストらしい大胆さといえるかもしれない。実際それでもジャズに聞こえてしまうのだが、**㊦**からのアドリブで、8小節パターンのコード進行を繰り返しながら、超絶テクニックと情熱的なピアノ・タッチで次第に盛り上げていく様はまさしくメルドーのジャ



「アート・オブ・ザ・トリオ Vol.4」バック
アート・ザ・ヴァンガード
ブラッド・メルドー
ワーナーミュージック・ジャパン
WPCR-10533 10月14日発売

ズ。跳躍の多いフレーズや両手のコンビネーションなど難しいところも多いが、頑張って練習してほしい。
(採譜：河本芳子/解説：北原英司)

今月は発売されたばかりのブラッド・メルドー・トリオの「ヴィレッジ・ヴァンガード」でのライブを収録したアルバム「アート・オブ・ザ・トリオ Vol.4」から「エグジット・ミュージック(フォー・ア・フィルム)」のピアノ譜をお届けしよ

Intro Bm Em6 Bm Em6 Bm Em6 Bm Em6

A Bm F#7sus4/B F#7 Bm/A E/G#

Bm F#7sus4 F#7 Bsus4 B

Bm F#sus4/B F# Bm/A E/G# Em/G

Bm F#7sus4 F#7 Bsus4 B

EXIT MUSIC(For A Film) played by BRAD MEHLDAU

B Am E7/G# Bm

Bm F#7sus4 Am

Am E/G# Bm

Bm F#7sus4 F#7

C F#7 Bm F#7 D7/A

E/G# Em/G Bm F#7sus4 F#7

Bsus4 B **D** Bm

This page contains eight systems of piano accompaniment. Each system consists of a treble clef staff and a bass clef staff. The music is written in a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. Chord symbols are placed above the treble staff. The systems are as follows:

- System 1: Chords C#7, F#7sus4, F#7, Gm, G.
- System 2: Chords G7, Fm/C, C, F#7sus4.
- System 3: Chords F#7sus4, E Bm, C#7sus4, C#7(#9), F#7.
- System 4: Chords G, G7sus4, G, C.
- System 5: Chords F#7(#9), F Bm, C#7(#11).
- System 6: Chords F#7, G.
- System 7: Chords C, F#7sus4.

EXIT MUSIC(For A Film) played by BRAD MEHLDAU

G Bm C#7(b9) C#7(#9) F#7(b13)

G7 CM7

F#7sus4 F#7 **H** Bm7 C#7(b13)

F#7 G7sus4 C

C6 F#7sus4 F#7

I Bm C#7 F#7sus4

G Gsus4

AIN
T!!
ております
sawa/

2000年冬の
見逃しなく!!



¥69,800
¥118,000
¥128,000



000
か?

!!

く!

す
JK!

東口

名演を探せ!!

GEORGIA ON MY MIND

チャールス・ロイド(ts) & ブラッド・メルドー(p)の名演「ジョージア・オン・マイ・マインド」

テナーとピアノで演奏するバラッド奏法の極意を学ぼう

か隠通を繰り返していたが、最近ではECMを舞台に精力的に活躍している。そこで今回は、その彼の最新アルバムから「ジョージア・オン・マイ・マインド」を取り上げ、共演するブラッド・メルドーのピアノと共に探譜、掲載した。

さて、譜面を見てみよう。この曲は、言うまでもなくホーギー・カーマイケル作曲の超有名スタンダードだが、イントロはメルドーのピアノのソロ・ルパートで、4小節目からテンポを提示している。5小節目3、4拍のアップパー・ストロクチャー・トライアドのサウンドをきっかけとして、[A]からロイドおよびリズム隊が入ってテーマ演奏となる。ロイドは原曲のメロディをほとんどそのままストレートに吹いているが、細かい装飾音

や、[A]の11、13小節目、[B]の4、6小節目などの速い駆け上がりパッセージが情感を盛り上げている。メルドーの、テーマにおけるバックギンギは簡潔にして必要などころにはきちんと対応するツボを心得たもので、ピアノのバックギンの参考になるだろう。[B]の6小節目3拍目から8小節目にかけての左手の一番下のラインはガイド・トーンのスムーズな動きを意識したもので、サビの終わりからAメロのトニックに進行していく流れを牽引している。コードのルートは、当然ながらベースに任せてピアノでは押さえていない。

テーマ後、ロイドはアドリブをとらず、メルドーが[C][D]と1コーラスのソロをとっている。[C]の2、3小節目の左



「ザ・ウォーター・イズ・ワイド」チャールス・ロイド
ユニバーサル クラシックス&ジャズ UCCE-1001

手や[D]の1、2小節目の両手の動きなど、耳に残るフレイジングがいろいろ繰り返り広げられ、[D]の8小節目から10小節目にかけてはアップパー・ストロクチャー・トライアドとスリリングなリズムでテンション感の高いプレイを聴かせている。
(探譜：河本芳子/解説：北原英司)

Tempo Rubato

Intro

In Tempo

T. Sax

[A]

GEORGIA ON MY MIND : Words by Stuart Gorrell, Music by Hoagy Carmichael
© 1930 by PEER INTERNATIONAL CORP.
International Copyright Secured. All Rights Reserved.
Authorized Selling Agent in Japan : HIGH NOTE PUBLISHING CO., LTD.

GEORGIA ON MY MIND

played by CHARLES LLOYD(ts) & BRAD MEHLDAU(p)

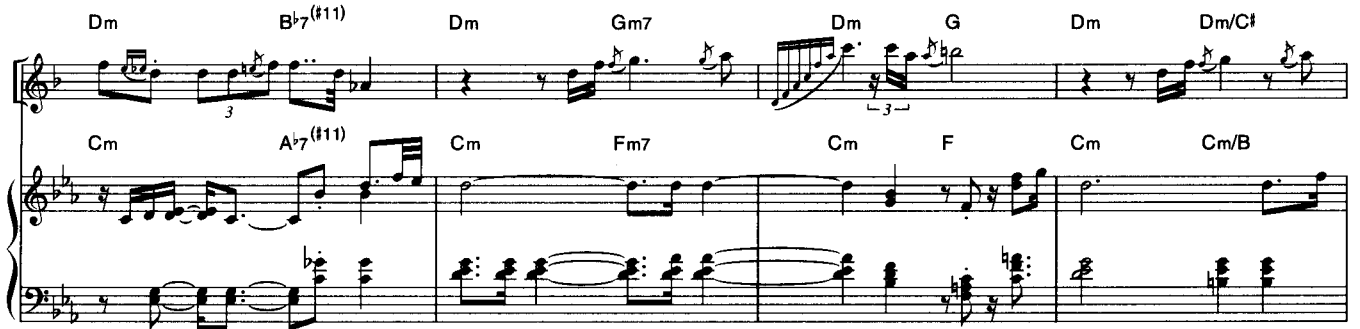
FM7 D7(b13) Gm7 C7(b9) F6 Am Em7(b5) A7(b13) **B** Dm Gm6

E^bM7 C7(b13) Fm7 B^b7(b9) E^b6 Gm Dm7(b5) G7(b13) Cm Fm6



Dm B^b7(#11) Dm Gm7 Dm G Dm Dm/C#

Cm A^b7(#11) Cm Fm7 Cm F Cm Cm/B



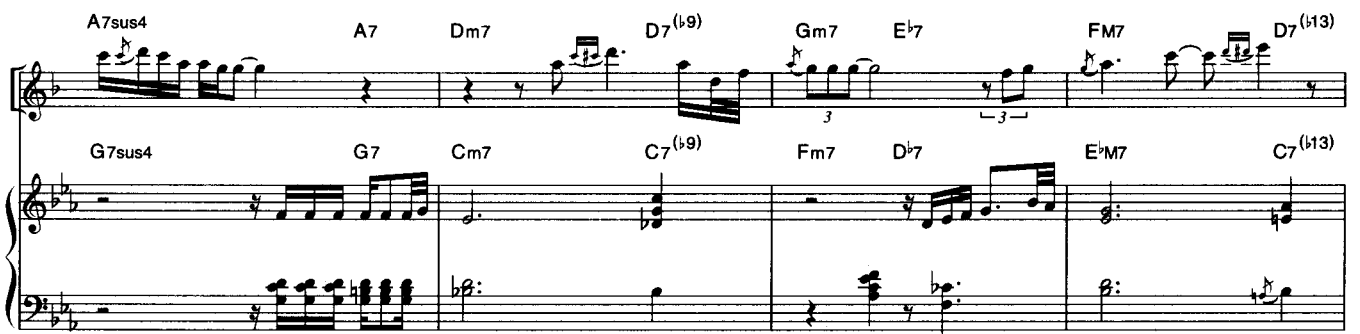
Dm/C E7sus4 E7 Am7 D7(b9) Gm7 C7(b9) Fm7

Cm/B^b D7sus4 D7 Gm7 C7(b9) Fm7 B^b7(b9) E^bM7



A7sus4 A7 Dm7 D7(b9) Gm7 E^b7 Fm7 D7(b13)

G7sus4 G7 Cm7 C7(b9) Fm7 D^b7 E^bM7 C7(b13)



Gm7 C7(b9) F6 D7(b13) Gm7(11) C7(b9) **C** F T.Sax

Fm7 B^b7(b9) E^b6 C7(b13) Fm7(11) B^b7(b9) E^b



G7 Cm E7 A^b D^b7

E^bM7 C7(b9) F7 B^b7sus4 B^b7 G7 C7

F7 B^b7sus4 B^b7 E^b G7

Cm E7 A^b D^b7

E^b C7 F7(#9) B^b7

E7 Dm7(b5) G7

D Cm Fm7 Cm A^b7

GEORGIA ON MY MIND

played by CHARLES LLOYD(ts) & BRAD MEHLDAU(p)

Cm7 Fm7 Cm7 F7

Cm7 D7sus4 D7

Gm7 C7(b9) F7(b9) Bb7sus4 Bb7(b9)

Ebm7 G7sus4 G7(b9)

Cm7 C7(b9) Fm7(11) D7

Ebm7 C7(b9) F7 Bb7sus4 Bb7(b9)

Ebm7 Dm7 G7 Cm

ブラッド・メルドー

採譜: 鈴木典子 (Seventh)

解説: 石澤功治

ムーン・リヴァー

ヴィレッジ・ヴァンガードにおけるライブ録音作品から

若手ピアニストの中では人気・実力共に抜きんでた存在のブラッド・メルドー。その彼のアルバム「アート・オブ・ザ・トリオ」シリーズから、今回は「ムーン・リヴァー」を取り上げてみた。リリシズムと斬新さが見事に融合した演奏から、彼のセンスの良さと抜群の表現力がわかるはずだ。なお、バラッドのためリズム(特に右手のシングル・ライン)はかなり感覚的に弾かれている。そのため、譜面上表現しにくい部分はそれに近

い音価で記してあるので、実際の音を確認して弾いてほしい。

テーマ部分はFメジャーのキーで演奏される。Ⅲの4小節2~4拍目、左手のトップ・ノートがクロマチックで上がってクリシェ・ラインを作っている。Ⅳの8小節3~4拍目、本来B^bM7のところをB^b7にして、ほんの少しブルージーな雰囲気を出しているのはさすがだ。Ⅴからはアドリブ・ソロでDメジャーに転調。Ⅵの4~7小節目の右手のラインは

見事としか言いようがない。Ⅵの7~8小節目はキース・ジャレットを彷彿とさせるプレイ。本人がどういう意図で右手のラインを弾いているかは各自研究してほしい。Ⅶの8小節3拍目、G7のテンション処理にセンスの良さがうかがえる。 ■

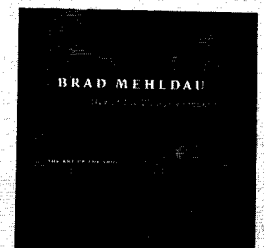
“MOON RIVER”

(from : BREAKFAST AT TIFFANY'S)

Words by Johnny Mercer

Music by Henry Mancini

© 1961 by FAMOUS MUSIC CORP.
All rights reserved. Used by permission.
Authorised to NICHION, INC. for sale only in Japan.



収録アルバム

「アート・オブ・ザ・トリオ Vol.2: ライヴ・アット・ザ・ヴィレッジ・ヴァンガード」

ブラッド・メルドー

(ワーナーミュージック WPCR-1836)

■収録曲①イッツ・オールライト・ウィズ・ミー②ヤング・アンド・フーリッシュ③モンクス・ドリーム④今宵の君は⑤ムーン・リヴァー⑥カウントダウン

■パーソネル■ブラッド・メルドー

(p)、ラリー・グレナディア(b)、ホル

ヘ・ロッシィ(ds)

■1997年7月29日~8月3日、ニュー

ヨーク「ヴィレッジ・ヴァンガード」ラ

イヴ録音

Pf.

BRAD MEHLDAU

A7(#9) D7(#9) Gm7 C7(b9)⁽¹¹⁾ C7(b9)⁽¹³⁾ Fm(9) Eb7(13)⁽⁹⁾ DM7 Bm7

The first system of music consists of two staves. The treble staff contains a melodic line with several triplets and a change in key signature to D major. The bass staff provides a harmonic accompaniment with chords and triplets. A box labeled 'C' is placed above the final measure of this system.

Gm(9) D/F# Gm(9) Dadd9/A C#m7(b5) F#7sus4 F#7 Bm(9) Am7 D7/A

The second system continues the musical piece. It features a variety of chords including Gm(9), D/F#, Dadd9/A, C#m7(b5), F#7sus4, F#7, Bm(9), Am7, and D7/A. The notation includes triplets and a change in key signature to D major.

G6 C7(13)⁽⁹⁾ Bm(9) G#m7(b5) C#7 F#m7 B7(b13) E7(b13) A7(#9) DM(9) Bm7(11)⁽⁹⁾

The third system of music includes chords such as G6, C7(13)(9), Bm(9), G#m7(b5), C#7, F#m7, B7(b13), E7(b13), A7(#9), DM(9), and Bm7(11)(9). The notation is dense with triplets and a change in key signature to D major. A box labeled 'D' is placed above the final measure of this system.

Em/G Dadd9/F# Gm7(13) DM7(9)/F# C#m7(b5) F#7 Bm(9) Am7 D7/A

The fourth system continues with chords like Em/G, Dadd9/F#, Gm7(13), DM7(9)/F#, C#m7(b5), F#7, Bm(9), Am7, and D7/A. The notation includes triplets and a change in key signature to D major.

G#m7(b5) Gm7 C7 Dadd9/F# Gm7(13) DM7/F# Gm7

The fifth system of music features chords such as G#m7(b5), Gm7, C7, Dadd9/F#, Gm7(13), DM7/F#, and Gm7. The notation includes triplets and a change in key signature to D major.

F#7(b13) B7(#9) E7(13) A7(#9) D C7(13)⁽⁹⁾

The sixth and final system on the page includes chords like F#7(b13), B7(#9), E7(13), A7(#9), D, and C7(13)(9). The notation includes triplets and a change in key signature to D major.

MOON RIVER

Chords: D, Bm7, GM7^(b13), Dadd9/F#, GM7^(b13), D/F#

The first system of musical notation for 'Moon River' consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The key signature has one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The music begins with a treble clef and a key signature of one sharp. The first measure has a box around the letter 'E' and a '6' below the bass line. The piece features a complex harmonic structure with various chords and melodic lines.

Chords: C#7aug, F#7, Bm⁽⁹⁾, Am7 D7/A, G, C7

The second system of musical notation continues the piece. It features a treble clef and a bass clef. The upper staff has a '14' above a measure and a '3' below a measure. The lower staff has a '3' below a measure and a '6' below a measure. The music continues with various chords and melodic lines.

Chords: Bm⁽⁹⁾, G#m7^(b5), C#7^(#9), F/F#, B^b/F, E^b7, A7, DM⁽⁹⁾, Bm⁽⁹⁾

The third system of musical notation continues the piece. It features a treble clef and a bass clef. The upper staff has a '7' below a measure and a '5' below a measure. The lower staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The music continues with various chords and melodic lines.

Chords: Gm7⁽⁹⁾, D/F#, GM7, D/F#, C#7^(#9), F#7sus4, F#7

The fourth system of musical notation continues the piece. It features a treble clef and a bass clef. The upper staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The lower staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The music continues with various chords and melodic lines.

Chords: Bm⁽⁹⁾, Am7, D7/A, E/G#, Gm7⁽⁹⁾, C7, D/F#, GM7^(#11)

The fifth system of musical notation continues the piece. It features a treble clef and a bass clef. The upper staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The lower staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The music continues with various chords and melodic lines.

Chords: DM7⁽¹³⁾/F#, G7^(13/9), F#7^(b13), B7^(#9), E7⁽¹³⁾, A7^(#11), DM⁽⁹⁾, C7^(13/9), C7^(b9)

The sixth system of musical notation continues the piece. It features a treble clef and a bass clef. The upper staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The lower staff has a '3' below a measure and a '3' below a measure. The music continues with various chords and melodic lines.

BRAD MEHLDAU

ブラッド・メルドー

Paranoid Android



アーティスト: Pink Floyd
アルバム名: Paranoid Android
レーベル: Harvest
発売日: 1971年2月21日

パラノイド・アンドロイド

ブラッドが再び取り上げたレディオヘッドナンバー

ブラッド・メルドーの新制「ラジオ」から「パラノイド・アンドロイド」を取り上げてみた。このUKロックの雄「レディオヘッド」のナンバーで、ブラッドによって「ソング」(1997年「メジタット・ミュージック」(ワー・ア・フィルム))に続いての彼らのカバーとなる。本作のプロデュースは、ロック/ポップ・フィールドで活躍する「ラジオ」のメンバーであることもあり、ジャズ・インスピレーションに音楽を染めさせた傑作となった。形式にとらわれず演奏する

ことに一度も心を動かされたことがない。ジャズマンらしくからめ書きをしているブラッドだが、この曲においても形式の拘束を意識しつつ、ハードにインプロヴァイズしている点に注目したい。ソングのメロディ・ラインに思いついたように音の同合い、コードワークがなかなかうまくいかなかった手法を取り入れた。インテロ部分では、最初の子でこそあるが、メロディを追求する姿勢が崩さない。また、このナンバーを見ることが出来る。

この曲は、レディオヘッドの4枚目のアルバム「Atom Heart Mother」に収録されている。当時のロックシーンにあっては、かなり異色の存在だった。この曲は、当時のロックシーンにあっては、かなり異色の存在だった。この曲は、当時のロックシーンにあっては、かなり異色の存在だった。

ジャケット (写真②)。
メロディー作。
パーソンズ (ボーカル)。
レディオヘッドメンバー。
ジョニー・スターダスト。
アルバムジャケットでインスピレーション。
「トックザー」なる演奏を聴く「Another」。
世界に送り出し、ローズも弾いた曲(写真③)。
ジャズ。
ジャズ。このアルバム。
ジャズ奏者。
その理由である(写真④)。
マイクブライジャズ作品。この。
ジャズ。ジョニスターダスト、ジョニスターダスト(ss)、ジョニスターダスト。
セッションと95年作品。
コンピレーション7年作品。
楽譜による楽譜、ハーニー、カヨシア・レッツされている。
楽譜(その後、難ブリック監録の(写真⑤))。
楽譜制作のサンクション。
は、ニール・「に」を演奏して

PARANOID ANDROID Words by Thomas Yorke, Edward O'Brien, Colin Greenwood, Jonathan Greenwood, Philip Selway Music by Thomas Yorke, Edward O'Brien, Colin Greenwood, Jonathan Greenwood, Philip Selway © 1997 by WARNER CHAPPELL MUSIC LTD. All rights reserved. Used by permission. Print rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUNDATION

Paranoid Android

Musical notation system 1: Treble and bass clefs. Chords: Dm9/F, E7, Cm, Cm/B^b.

Musical notation system 2: Treble and bass clefs. Chords: F7, Am7^(b5), Am7^{(b5)/B^b}, Gm, Gm/A, Gm/B^b, B^b(⁹)/E, Gm, Gm/A, Gm/B^b.

Musical notation system 3: Treble and bass clefs. Chords: B^b(⁹)/E, Cm, Cm/B^b, F7, Am7^(b5), Am7^{(b5)/B^b}, Gm, Gm/A, Gm/B^b.

Musical notation system 4: Treble and bass clefs. Chords: B^b(⁹)/E, F, Gm6, Dm9/F, E7. Includes a right-hand (R.H.) piano accompaniment instruction: *R.H. 8va bassa*.

Musical notation system 5: Treble and bass clefs. Chords: Gm6, Dm9/F, E7.

Musical notation system 6: Treble and bass clefs. Chords: G, Am, E7/G[♯], Am, E7/G[♯], Am, E7/G[♯], Am, E7/G[♯], H, C7.

Musical notation system 7: Treble and bass clefs. Chords: C7, Am, E7/G[♯], Am, E7/G[♯], Am, E7/G[♯].

Am E7/G# C7

C7 Am E7/G# Am E7/G# Am E7/G#

Am E7/G# J C7

C7 Am E7/G# Am E7/G# Am E7/G#

K C7

Am E7/G# Am E7/G# Am E7/G#

Am L C7

Paranoid Android

Chord progression: C7, Am, E7/G#

Chord progression: Am, E7/G#

Chord progression: C7, Am, E7/G#

Chord progression: Am, E7/G#

Chord progression: C7, Am, E7/G#

Chord progression: Am, E7/G#

Chord progression: C7, F

時の流れに

Still Crazy After All These Years

ポール・サイモンの代表曲をジャズ・ピアノで楽しむ!

収録アルバム
「エニシング・ゴーズ」
ブラッド・メルドー・トリオ
ワーナーミュージック・ジャパン
(Warner Bros.) WPCR-11808



ブラッド・メルドーの2年半振りのトリオ・シリーズ最新作「エニシング・ゴーズ」から「時の流れに」をお届けしよう。この曲は、ポール・サイモン(vo,g)が1975年にグラミー賞(アルバム・オブ・ザ・イヤー)を受賞したアルバム「時の流れに」からのタイトル曲で、ポール・サイモンの代表曲のひとつである。アート・オブ・ザ・トリオ・シリーズは、最新作で8作目となるだけに、斬新な選曲とアレンジに加えて“鍵盤の詩人”とも言われるブラッドを中心とした3人の新

たな世界が繰り広げられている。

今回取り上げた「時の流れに」はスローなバラッドであるが、驚くほどシンプルな演奏になっている。トリオでは和音を奏でる唯一の楽器がピアノであるだけに、どうしてもコード内の音数を増やしがちになるところだが、ブラッドは本当にエッセンスとなる音だけを選んでスッと浮き上がらせるように弾くことで、音数は少なくともコード感を損なわず、より透明感の出る水彩画のような演奏になっている。

また、(Intro.1)の外声のラインや、随所に見られる内声の6度の動きなどからもブラッドが長年クラシックにも傾倒し、影響を自然に受けて来たということが、こうして譜面に起こしてみると手に取るように分かる。演奏する際にはメロディを歌い、引き立てることはもちろんだが、内声(特に6度)の響きなどの横の流れを意識し、コード・チェンジした際にも縦のラインが音数の少ない中でも聴く側にはっきりと分かるように心掛けてプレイするといいたいだろう。 ■

Rubato

Intro.1 $\text{Am7}^{(9)}$ B7 E Am7 B7 E **Intro.2** B7 Em_3 $\text{♩} = 98$ $\text{♩} = \text{♩}^3$

C/B^{\flat} **Even** G/A G/B_3 D7 G

A G G7 C6 Cm6

G $\text{F}^{\#}\text{m7}^{(b5)}$ Gm7

G7sus4 G7 C $\text{C}^{\#}\text{dim}$

Brad Mehldau

Still Crazy After All These Years



随所に見られ
が長年クラシ
たということ
取るように分
引き立てるこ
きなどの横の
にも縦のライ
と分かるよ

Chords: G, D, Ddim, Em, Edim

Chords: G, D, Cm

Chords: G, C/G, G, B

Chords: C, Cm6, G, F#m7(b5)

Chords: F#m7(b5), GM7

Chords: G7, C#dim, G, D#dim

Chords: Em, Edim, G, D

Brad Mehldau

Still Crazy After All These Years

G Fm7(9) A^bM7/E^b E/D

The first system of music is in G major. The right hand features a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure and a quarter note in the second. The left hand provides a harmonic accompaniment with chords G, Fm7(9), A^bM7/E^b, and E/D. A triplet of eighth notes is also present in the left hand in the second measure.

C AM7 [Even] [Even]

The second system is in C major. The right hand has a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure. The left hand features chords AM7 and C. The word "[Even]" is written above the right hand in the third and fourth measures, indicating a steady, even tempo.

G^bm7 F[#]add9

The third system is in G major. The right hand has a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure. The left hand features chords G^bm7 and F[#]add9. A triplet of eighth notes is also present in the left hand in the second measure.

E7 G G7

The fourth system is in G major. The right hand has a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure. The left hand features chords E7, G, and G7. A triplet of eighth notes is also present in the left hand in the third measure.

D C Em7 B7

The fifth system is in G major. The right hand has a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure. The left hand features chords D, C, Em7, and B7. A triplet of eighth notes is also present in the left hand in the second measure.

B7 Em7 B7 Em7

The sixth system is in G major. The right hand has a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure. The left hand features chords B7, Em7, B7, and Em7. A triplet of eighth notes is also present in the left hand in the second measure.

B7 Em7 B7 Em7 B7

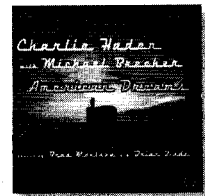
The seventh system is in G major. The right hand has a melodic line with a triplet of eighth notes in the first measure. The left hand features chords B7, Em7, B7, Em7, and B7. A triplet of eighth notes is also present in the left hand in the second measure.

テナー・サクスの名演

現代テナーの頂点

採譜・解説：かたおかいずみ(Craftone, Inc.)

マイケル・ブレッカーのロマンティックなメロディに酔う Michael Brecker with Brad Mehldau ヤング・アンド・フーリッシュ



収録アルバム
「アメリカン・ドリームス」
チャーリー・ヘイデン with
マイケル・ブレッカー
ユニバーサル(Verve) UCCV-1035

「ヤング・アンド・フーリッシュ」は、昨年発売され話題をさらったチャーリー・ヘイデン(b) with マイケル・ブレッカー(ts)名義の名盤「アメリカン・ドリームス」に収録されているスタンダード・ナンバー。

ベースとストリングス・オーケストラによるベースに続き、マイケルがテナーでしっとりとテーマを奏でていく。ヘイデンの奏でる重厚なベースに、ブラッド・メルドー(p)の繊細なタッチのピアノが加わり、ロマンティックな雰囲気を出している。譜面はパー

ス後のテーマ部。サクスはシンプルでありながら美しい旋律をたっぷり歌っている。ピアノはセンスの良いヴォイスिंगに注目。ベース・ソロの後、ストリングスでのテーマのリフレインがあり、再度マイケルのテナーに受け継がれていく様はとてドラマティックに演出されていて、聴き手の想像力をかき立てる。

この曲に限らず、このアルバムに収められたすべての楽曲から、ヘイデンの各曲に対する特別な想いが伝わってくる。「ジャズ・ミュージシャンとしてだけでなく、

“ミュージシャン”にならなければ、自分の音楽を見つけることはできない」と学生たちに説くヘイデンに、美しい音楽を演奏したいという純粋な気持ちから選ばれた曲たちはカテゴリーにとらわれない創造力を持っている。若い世代の中で光りを放つメルドーとブライアン・ブレイド(ds)の好サポートを受けて、そうしたヘイデンの音楽を、深い理解力と豊かな表現力で盛り立てているのが、マイケル・ブレッカーのテナー・サクスのなのだ。

CD TIME: 1:04 ~

T. Sax. (in B \flat)

Pf

Chords: CM7(9), Am7, Ab7(#11), G7, CM7, G6, Gm7, C7(13), BbM7(9), Gm7, Gb7(#11), F7, BbM7, F6, Fm7, Bb7(13), FM7(9), E7(#9), A7, Dm7(9), Dm7(11), D#dim7, EbM7(9), D7(#9), G7, Cm7(9), Cm7(11), C#dim7, Em7, E7(#9), Am7, E7(#9), Am7, Dm7, D7(#9), Gm7, D7(#9), Gm7.

YOUNG AND FOOLISH

マイケル・ブレッカー with ブラッド・メルドー

Am7 D7 A^bM7 G7sus4 G7⁽¹³⁾

Gm7 C7 G^bM7 F7sus4 F7⁽¹³⁾

CM7 Am7 A^b7^(#11) G7 Cadd9 G6 Gm7 C7⁽¹³⁾

B^bM7 Gm7 G^b7^(#11) F7 B^badd9 F6 Fm7 B^b7⁽¹³⁾

Fm7 E7 A7^(b9) Dm7

E^bM7 D7 G7^(b9) Cm7

Dm7 D[#]dim7 Em7 E7^(#9) Am7

Cm7 C[#]dim7 Dm7 D7^(#9) Gm7

D7⁽⁹⁾ C/E B^b7 A7 A^b7 G7 Cm7/G

C7⁽⁹⁾ B^b/D A^b7 G7 G^b7 F7 B^bM7/F